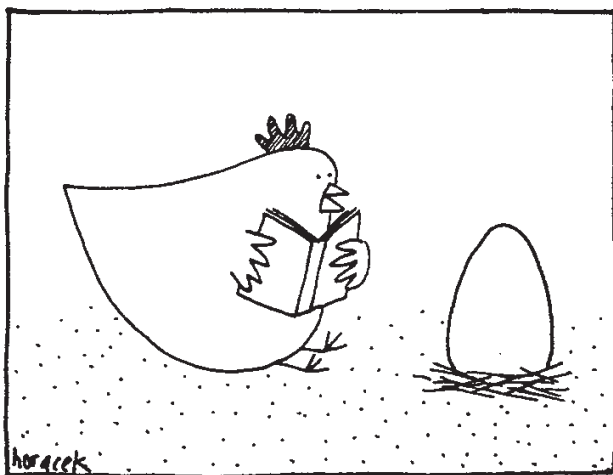


赤ちゃんが生まれる前に読み聞かせをする5つの素晴らしい理由!



1. 妊娠25～26週頃、赤ちゃんは声に反応して頭を動かすことが確認されています。妊娠第三期には、赤ちゃんは既にあなたの声を認識し、心拍数が上がることで反応します。赤ちゃんはまだ成長中ですが、ちゃんと聞いているのです!
2. 本を読んだり歌ったりする時のあなたの声は普段の会話とは異なります。赤ちゃんはその色々な音を楽しみ、読書や歌のリズムに馴染むようになります。
3. 妊娠第三期には歌1曲と本1冊を選び、繰り返し歌って読んであげてください。赤ちゃんが生まれた後その同じ曲と本にどう反応するか見てみてください! おそらく、それらで赤ちゃんが安心し、落ち着くことに気づくでしょう。
4. 書に最適な居心地の良い場所を作ることによって、赤ちゃんが生まれることを待ちながら、赤ちゃんとの絆を深め、新しい日常に慣れることができます。
5. 大切な家族や友人を招待して赤ちゃんに歌を歌ったり本を読み聞かせたりしてもらいましょう。そうすれば赤ちゃんがその人の声にも親しむことができます!



Family Reading
Partnership

40 Catherwood Rd. Ste D01 Ithaca, NY 14850
607.277.8602 www.familyreading.org



Start reading now and keep reading!

- ♥ 赤ちゃんが生まれる前に読み聞かせをすれば、赤ちゃんは生まれた後、あなたの声で安心するようになります。
- ♥ 生まれた後は、赤ちゃんを腕に抱きながら、または一緒に床に寝転びながら読み聞かせをしましょう。本を読む時間を共有することを日常にしましょう!

まもなく、

Family Reading Partnership
の以下のプログラムによって、あなたの家に新しい本が置かれるでしょう。

— Books to Grow On —

カユーガ医療センターで生まれた赤ちゃんには赤い本袋に入った「Welcome Baby Book」と「一緒にお話ししよう、歌おう、読もう、遊ぼう」というパンフレットが贈られます。



トンプキンス郡では、赤ちゃんの生後2ヶ月から4歳までの間に8回の「well-child visits」の際に赤ちゃんの医者から新しい本がご家族に提供されます。

子どもが幼稚園に入る際には、「Welcome to School Book」が贈られます

— Bright Red Bookshelf —



地域にある50以上の「Bright Red Bookshelves」には、家庭に持ち帰れる子ども向けの本が無料で提供されています。ブックシェルフの場所の地図は、当団体のウェブサイトに掲載されています：

<http://www.familyreading.org/our-programs/bright-red-bookshelf/>

赤ちゃんへの読み聞かせは、始めるのが早すぎることはなく、その効果は一生続きます!

遊ぼう!

赤ちゃんはすべてに興味津々です!遊びは赤ちゃんが学ぶ自然な方法です。赤ちゃんと遊ぶことで、あなたが一緒に過ごす時間を大切に思っていることを赤ちゃんに教えることができます。遊びは赤ちゃんの社会性や言語能力を育む助けにもなります。

あなたの顔はおもちゃ! あなたの顔や手は、赤ちゃんのお気に入りでも最も重要なおもちゃになるでしょう。遊び心を持って、な表情や手の動きを試してみてください。

感覚を刺激しよう 赤ちゃん遊ぶことは、必ずしも楽しさを与えることではありません。日常生活の中で赤ちゃんがさまざまな感覚を使って探求できるように促すことが素晴らしい遊び方です。赤ちゃんはあなたが着替えるとき服の色や質感に興味を持つかもしれませんし、料理をしているときのキッチンの香りを楽しむこともできます。

観察し、待とう 赤ちゃんが遊んでいる様子を静かに見守ると、さまざまな発見があるでしょう。赤ちゃんは新しいスキルを邪魔やお手伝いされずに自分で習得するのが大好きです。一見あまり何もしていないように見えるかもしれませんが、赤ちゃんにとってはすべてが新しい体験です!

赤ちゃんのサインに気づき、応えよう 大人と同じように、赤ちゃんも常に社交的ではありません。もし赤ちゃんが顔を背けたり、少しぐずったりしていたら、それは「休憩が必要だよ」というサインです。

電池を使わないおもちゃで遊ぼう! 赤ちゃんの脳は急速に成長しているため、電子機器の代わりに絵本を読んだり、シンプルなおもちゃを与えて遊んであげましょう。話しかけたり一緒に遊んだりすることが赤ちゃんが最もよく学ぶ方法です。おもちゃを選ぶ際には、光ったり音が出たりしないものを選びましょう。これらの玩具は赤ちゃんにとって刺激が強すぎることもあり、学習を制限してしまうことがあります。赤ちゃんのそばで電話や電子機器を使う場合は、家族や友人とのビデオチャットや、愛する人々の写真を見ることに限定すると良いでしょう。

お話ししよう

生まれた赤ちゃんと話することは、彼らが言語を学ぶ最良の方法です。まだ話せないけれど、彼らはちゃんと聞いています!

愛の言葉を使おう 赤ちゃんは、交互に話すことで言葉を学び始めます。彼らは喃語を使って、あなたを見て、待ちます。あなたが喃語で話すと、彼らも返事します。この様な初期の「会話」は、赤ちゃんに言語と彼らが愛されているということを教えます!

おむつ替えの際のおしゃべりを楽しもう おむつ替えは、素晴らしいおしゃべりの時間です。赤ちゃんはあなたの顔を見つめ、あなたが話しかける言葉に耳を傾けるでしょう。

優しく応じよう 泣くことは、赤ちゃんの最初のコミュニケーション手段です!優しい口調と愛ある言葉で応えることで、赤ちゃんはあなたが聞いてくれていることを学びます。



たくさんの言葉を与えよう 赤ちゃんが何をみているかに注目し、それについて話しましょう!花や動物、おもちゃや食べ物—名前、色、形、匂いなど、思いつくことを何でも話してあげてください。

赤ちゃんは同じ言葉を繰り返し聞くことで、その意味を学んでいきます。

あなた自身の行動について話そう 赤ちゃんの服を替える前に、「今からシャツを替えるね」と伝えましょう。そうすると、赤ちゃんはあなたがあなたの言葉を理解し、自分が作る音や行動で応えるようになります。赤ちゃんに質問を投げかけることもできます。まだ言葉で返事はできませんが、赤ちゃんが自分が会話をしていることを知ることは大切です!



Every Baby! Every Day!
Talk. Sing. Read. Play.
A Community Campaign led by the Family Reading Partnership

Family Reading Partnership

歌おう!

音楽は赤ちゃんの脳を目覚めさせます!赤ちゃんは歌のリズムやメロディーを楽しみ、言語を学ぶ楽しい方法です。

ただ歌おう! 赤ちゃんに歌ってあげてください。自分の声が素晴らしくないと思っても、あなたの声は特別で、赤ちゃんにとって心地よいものです。

あなたの子供の頃の歌を歌おう

幼い頃の歌を覚えていますか?それをあなたの赤ちゃん伝えてあげましょう!韻を踏む歌は、赤ちゃんのリテラシーの発達に特に役立ちます。



動きながら歌おう 音楽と動きは自然に結びついています。赤ちゃんと一緒に踊ったり、揺らしたり、抱っこしながら歌うことで、赤ちゃんの身体的発達をサポートできます。

アレンジしてみよう 歌やハミングの速度を速くしたり遅くしたり、音量を小さくしたり大きくしたりしてみましょう。これらのシンプルな変化は、赤ちゃんにとって新しく興味深い体験になります。

自分の物に変えてみよう おなじみのメロディを使って歌詞を変えてみましょう。赤ちゃんの名前を使ったり、ただ今していることについて歌ったりしても良いです!歌で赤ちゃんが落ち着ける様に手助けすることで、彼らが自分自身を癒す力を得ることができます。

Family Reading Partnership は、あなたをサポートするためにここにいます! 私たちのウェブサイトやソーシャルメディアを訪れて、トンピンス郡の住民が家族と一緒に読み、話し、歌い、遊ぶためのプログラムについてもっと知ってください!

www.familyreading.org



本を読もう!

一緒に本を楽しむ時間を共有することは、赤ちゃんが生涯にわたって読書を愛する気持ちを育む助けになります。赤ちゃんが静かにじっとしていなくても彼らは聴く練習をしており、絵は彼らがアートに触れるきっかけを与えています。

抱っこして一緒に読もう 赤ちゃんを膝に抱えて一緒に読むことで、赤ちゃんは最も好きなもの、つまりあなたの声や一緒にいることと本を結びつけることができます!これは絆を深める素晴らしい方法であり、毎日一緒に読むことで赤ちゃんは安心感を得ることもできます

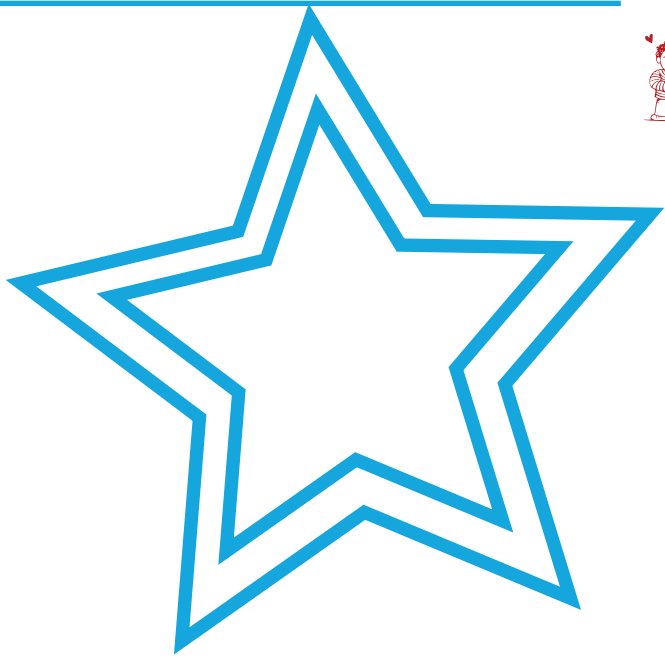


絵を見て読もう 赤ちゃんは本の全部を理解する準備ができていないかもしれませんが、ページをめくることに興味を持つかもしれません!絵について話しましょう。赤ちゃんに見えるものを指さして名前を付けてあげてください。必要であれば、新しい物語を作っても良いです!

本を身近に置こう ベビーカーやおむつバッグ、車、そしておむつ替えの場所に本を置いておきましょう。赤ちゃんが機嫌が悪いとき、待機中の時、遊んでいるときなどに本を思い出してください!

何度も...何度も! 赤ちゃんは繰り返すことを好み、そこから学びます。赤ちゃんが同じ本を何度も読みたがるなら、それは彼らがたくさん学ぶことを学んでいるからだ覚えておいてください!

図書館に行こう 私たちの地域の全ての図書館には赤ちゃん向け本の素晴らしいコレクションがあります。勿論あなた自身のために本を手に入れることも忘れずに。赤ちゃんが家にいると、あなたが楽しむ時間を作ることはさらに重要です。もし赤ちゃんがあなたが本を持っているのを見れば、きっと自分も一冊欲がるでしょう!



この本を提供してくださったのは、



Family Reading
Partnership

からのスポンサーシップのおかげで、



United Way of
Tompkins County
Impact Partner

あなたの成長する生後2ヶ月の赤ちゃん

- ♥ にっこり笑ったり、「あー」「おー」といった声を出すのが好き
- ♥ あなたの顔やコントラストの強い画像を見るのが好き
- ♥ 目の前の近くにあるものに焦点を合わせることができる
- ♥ 音がした方向に頭を向け、あなたの声を認識できるようになる

一緒に成長しよう:

あなたとあなたの生後2ヶ月の赤ちゃん

★赤ちゃんが「あー」「おー」と声を出したら、笑顔で返し、同じように声をかけてみましょう。少し間を置いて、赤ちゃんに反応する機会を与えてください。この愛情たっぷりのやり取りが、赤ちゃんにとって最初の「会話」になります!

★赤ちゃんにたくさんの顔合わせの時間を与えましょう。赤ちゃんの目を見つめ、さまざまな表情を見せてください。あなたの顔は、赤ちゃんにとって最初で一番のお気に入りのおもちゃであり、社会的・感情的な学びのための最良のツールです。

★黒と白のコントラストが強いおもちゃやイラストなどを赤ちゃんの前に持ってきてみましょう。ゆっくりと左右に動かし、赤ちゃんの目で追う練習を手伝ってあげてください。このスキルは後に読み書きの際に役立つようになります。

★赤ちゃんに歌うようなトーンで話しかけてみてください。私たちはよく無意識のうちにこのように話しかけますが、これには理由があります。赤ちゃんは高い音の方が聞き取りやすいのです。あなたの声は赤ちゃんにとって安心感の源であり、あなたが話しかけるほど赤ちゃんの言語発達を手伝えます。

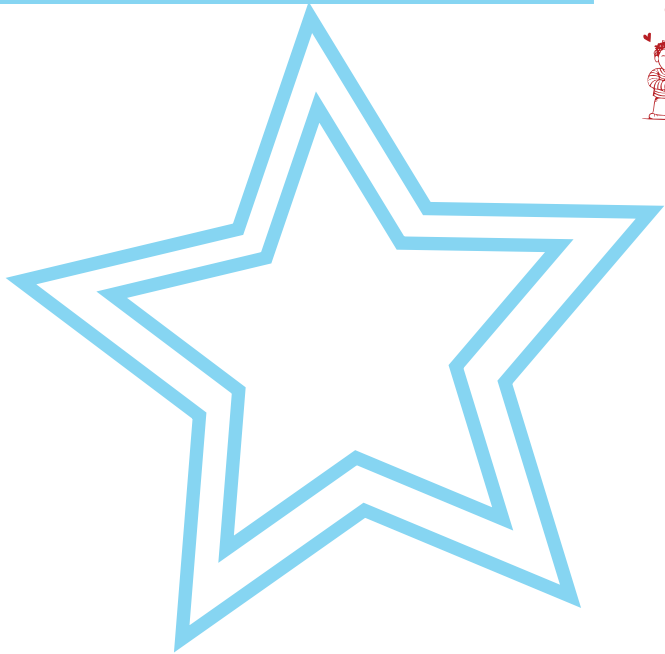
話して、歌って、読んで、遊ぼう:

★赤ちゃんのために曲をかけ、一緒に歌ったりただ聞いてみたりしましょう。音楽のリズムや韻は、赤ちゃんの言語発達をサポートします。

★外に散歩に出かけて、赤ちゃんがどのようなものに興味を示すか観察してみてください。赤ちゃんは、鳥の鳴き声や通り過ぎる車の音に顔を向けますか?見たり聞いたりしていることについて、赤ちゃんに話しかけてあげてください!

★2ヶ月2の赤ちゃんは優れた嗅覚を持っています。外にある花の香りを嗅がせてあげられますか?赤ちゃんがすべての感覚を使って世界を体験することで、脳の成長を手伝えます!

★赤ちゃんと一緒に本を読むときは、本のすべての言葉を読む必要はありませんし、最後まで読み切る必要もありません。カラフルな絵を見ながら赤ちゃんと一緒に話すだけでも、それは赤ちゃんにとって素晴らしい学び方になります。



この本を提供してくださったのは、



Family Reading
Partnership

からのスポンサーシップのおかげで、



United Way of
Tompkins County
Impact Partner

あなたの成長する生後4ヶ月の赤ちゃん

- ♥ より警戒心を持ち、社会的になる
- ♥ あなたの笑みや顔をみるのが好き
- ♥ 自分で音を出すことと自分の声を聞くのが好き
- ♥ 物を自分の口で確かめる
- ♥ 手で物をつかもうとする

一緒に成長しよう:

あなたとあなたの生後4ヶ月の赤ちゃん

★ 赤ちゃんに笑いかけて、面白い顔をして見せてみましょう!4ヶ月の赤ちゃんは 笑うことが大好きで、ユーモアを探求しています。一緒にふざける時間を楽しんでください!

★ 一緒に音を探求しましょう。舌を鳴らしたり、投げキッスをしたりして赤ちゃんの反応を見てみましょう!あたたの赤ちゃんが少しずつ音を出すようになっていくことに気づく かも知れません。赤ちゃんが喃語を話したら、その音を繰り返して会話を続けてください

★ 赤ちゃん口を使って柔らかいおもちゃやあなたの手、さらには本などを確かめさせてく ださい。赤ちゃんはすべての感覚を通じて学び、特に口の辺りは生まれたときから最 も発達されています。そのため、赤ちゃんは何でも口に入れたがるのです!物を噛ん だりすることは、赤ちゃんの舌、唇、頬、顎が話す準備をすることを手伝ってくれます!

★ 4ヶ月の赤ちゃんは、目の前の物に手を伸ばしたり触ったりすることを望みます。例え ばガラガラなど、音が出るおもちゃを置いてみてください。何かに触れたときに音が鳴 ることで、赤ちゃんは自分の行動が周囲の世界に影響を与えていることを学びます!

話して、歌って、読んで、遊ぼう:

★ 動物の面白い音や動きを楽しんでみましょう!大げさにするほど、赤ちゃんの注意を引くことができます

★ 4ヶ月の赤ちゃんは、あなたが本を読んでくれることより、本をつかんで口に運ぶことに 興味を持つかもしれませんが、これは大丈夫です!丈夫なボードブックは赤ちゃんの 為の素晴らしい選択になるでしょう。

★ 赤ちゃんと一緒に歌いましょう!赤ちゃんはあなたの歌を聞くのが大好きで、韻や繰り返しのある歌は彼らの言語発達を助けます。

★ タミータイム(うつ伏せ遊び)の時に鏡を用意しましょう!赤ちゃんの顔の前に鏡を立て て、反射を見られるようにしてみてください。赤ちゃんが一生懸命に頭と胸を持ち上げる 姿を見ることが出来るかも知れません!うつ伏せ遊びの際は常に赤ちゃんのそばにいてあげてください

さらなるアイデアや他のプログラムに興味がありましたら

www.familyreading.org をご訪問ください。   



この本を提供して下さったのは、



Family Reading
Partnership

からのスポンサーシップのおかげで、



United Way of
Tompkins County
Impact Partner

あなたの成長する生後6ヶ月の赤ちゃん

- ♥ あなたが話すと、こちらを向いて口の動きを見るようになる
- ♥ 喃語を話し始め、「ママ」「ダダ」「ババ」といった新しい音を出す
- ♥ 鏡や見覚えのある顔を見るのが好き
- ♥ 「物の永続性」を発達させており、見えなくなっても物が存在することを理解

一緒に成長しよう:

あなたとあなたの生後6ヶ月の赤ちゃん

★ 赤ちゃんが喃語を話すときは、その音を繰り返したり、その音を使う単純な言葉で返してみましょ。例えば、赤ちゃんが「ア」と言ったら、「朝」と返すことができます。喃語は 赤ちゃんが本当の言葉話す前におしゃべりを練習する方法です!

★ いないないばあのような隠れんぼゲームを楽しみましょう。いないないばあはあなたが見えなくてもあなたが必ず戻ってくるという安心感を与えることで、あなたと離れている時に赤ちゃんがより安心感を抱くことに繋がります。また、いないないばあゲーム中に赤ちゃんの笑い声ほど素晴らしい音はありません!

★ 赤ちゃんはすべての感覚を通じて学びます。赤ちゃんに匂いを嗅がせてあげたり、テクスチャーを触らせてあげたり、色んな色を見せてあげたり、音を聞かせてあげてください。赤ちゃんがその瞬間に体験することに付いて説明することで、語彙を築くことができます。自分自身のペースを落とし、赤ちゃんの目を通して世界に触れることを楽しんでください!

★ 最初の1年の間、赤ちゃんはあなたの顔を見ながら多くのことを学び続けます。あなたが共有するすべての対面でのインタラクションは、赤ちゃんの注意力、知覚、社会的・情緒的発達、そして言語発達に長期的な影響を与えます。毎日、赤ちゃんの視線の高さを合わせながら顔を合わせる時間を大切にしましょう!

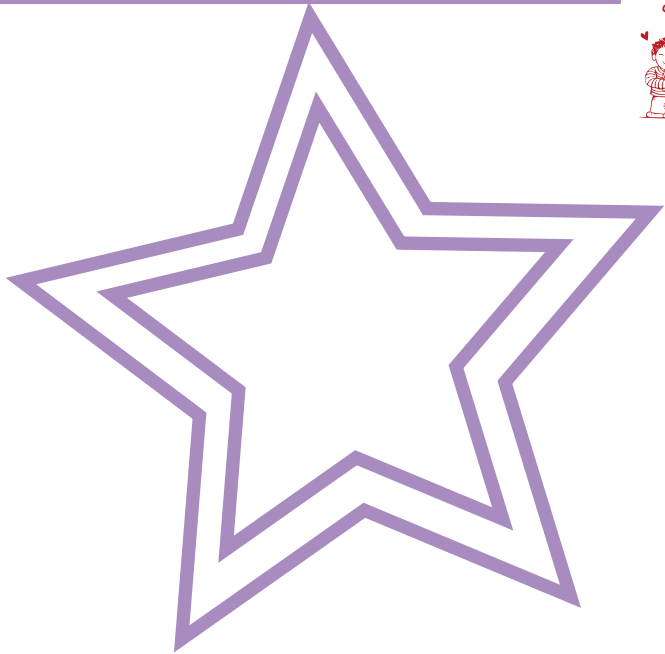
話して、歌って、読んで、遊ぼう:

★ 読書は、一緒に感情を探求する素晴らしい方法です!他の赤ちゃんの写真は、好奇心 旺盛な6ヶ月の赤ちゃんの目を引くでしょう。そして赤ちゃんはあなたがそれぞれの感情を演じるのを見て喜ぶはず。特に、少しおどけて大げさにするとなおさら楽しめるでしょう!

★ 幼児期の研究が進む中、社会的・感情的学習が他のすべての発達領域や将来の学びにとって不可欠であることが明らかになっています。あなたも赤ちゃんがより複雑な感情を見せ始めることに気づくかもしれません。赤ちゃんが感じているかもしれないことを反映し、話し合ってみましょ。例えば、「心配そうに見えるね。ミキサーの音が大きくて、あまり好きじゃなかったみたいだね!」と言うことで、赤ちゃんが自分の感情を特定することを手伝い、あなたと赤ちゃんの絆を深めることができます。

さらなるアイデアや他のプログラムに興味がありましたら

www.familyreading.org をご訪問ください。   



この本を提供して下さったのは、



Family Reading
Partnership

からのスポンサーシップのおかげで、



United Way of
Tompkins County
Impact Partner

あなたの成長する生後12ヶ月の赤ちゃん

- ♥ 昔より言葉をさらに多く理解している
- ♥ まだ話せなくても、あなたが言っていることを聞いている
- ♥ 自分でページをめくったり、本を持ったりし始めることがある
- ♥ 同じお話を何度も聞きたがることもある

一緒に成長しよう:

あなたとあなたの生後12ヶ月の赤ちゃん

★ 初めての誕生日おめでとう!あなたと赤ちゃんはとても成長しました。すべての赤ちゃんの発達過程はユニークであることを覚えておいてください。期限より進歩を見ていてください。赤ちゃんの発達について心配なことがあれば、小児科医は素晴らしいリソースです。必要であれば、早期介入で無償で支援を受けることができます。

★ 赤ちゃんは、日常のやり取りで言語とリテラシースキルを学びます。お話ししたり、歌ったり、一緒に読んだり、遊びましょう。お互いへのやり取りがあるゲームを試してみてください。たとえば、赤ちゃんにおもちゃを渡し、返してもらうように言います。おもちゃを何度か行ったり来たりさせてみましょう。これは将来の会話のための素晴らしい練習になります!

★ 赤ちゃんに取って音を出すことはコミュニケーションです。その音に言葉を添えてあげましょう。野外にいた時赤ちゃんが音を出した場合、赤ちゃんが何を見ているかを気にかけてみてください。「鳥を見ているね。あれは声が大きい鳥だね!」と言ってみましょう。

★ 私たちをソーシャルメディアでフォローして、地域のリソースやご家族のための幼年期リテラシーに関するヒントをもっと見つけてください!

話して、歌って、読んで、遊ぼう:

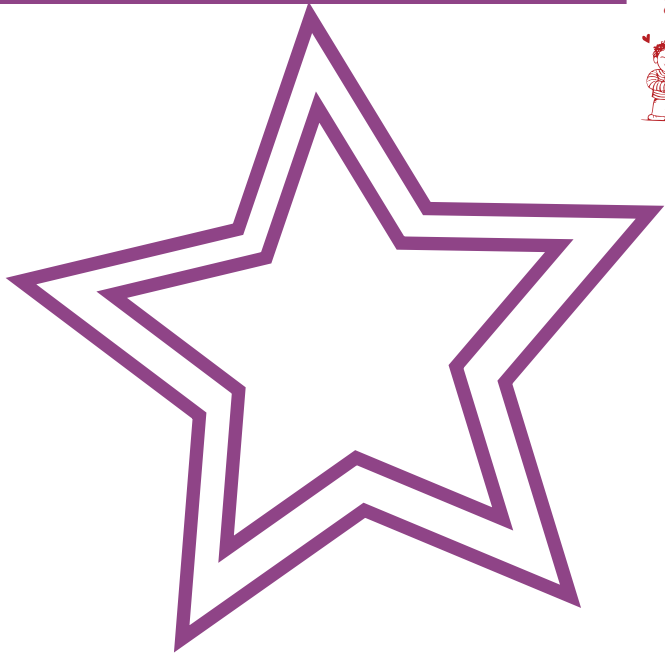
★ 赤ちゃんが自分の体のいろいろな部分に注意を向けるように手伝ってください。あなた自身の体の部位を指差して見本を示し、赤ちゃんも同じようにするように誘導してください!体の部分を数えることは、赤ちゃんが数字に親しむ素晴らしい方法です。

★ 本をきっかけに一緒に体を動かして遊びましょう!今までよりもたくさん動くようになった12ヶ月の赤ちゃんと音楽やダンスを楽しむことは、とても楽しいです。鈴やエッグシェーカー、リズムスティックなど、シンプルな楽器を使って遊んでみましょう!言葉と動きを組み合わせることは、脳を刺激を与える良い方法です。

★ あなたは赤ちゃんがある本を気に入っているときは、それを何度も読んで欲しいことに気づくでしょう。これは歌も同様です。同じ本を繰り返し読むのは親にとって少し大変かも知れないですが、赤ちゃんは繰り返すことによって言葉を学ぶことを覚えていてください!それが英語でも日本語でも、繰り返し読むことは赤ちゃんの言語発達にとって非常に良いことです。

さらなるアイデアや他のプログラムに興味がありましたら

www.familyreading.org をご訪問ください。   



この本を提供してくださったのは、



Family Reading
Partnership

からのスポンサーシップのおかげで、



United Way of
Tompkins County
Impact Partner

あなたの成長する生後18ヶ月の赤ちゃん

- ♥ 一緒に読む本を自分で選べる
- ♥ あなたが本を読んであげている間も動き回るのが好き
- ♥ 知っている動物の絵を見るのが好きで、その鳴き声を真似する
- ♥ 気に入った絵を指さして、一言二言話すことがある

一緒に成長しよう:

あなたとあなたの18ヶ月の赤ちゃん

★ もうお分かりのように、言葉やリテラシーの学びは生まれた瞬間から始まります!18ヶ月の赤ちゃんに正式なクラスやアクティビティを通して「教える」必要はありません。毎日、話しかけたり、歌ったり、読んであげたり、一緒に遊んだりすることが、リテラシーを発達させる最良の方法です。

★ 18ヶ月の赤ちゃんは自分で動き回り、自分で物に触れたり物を探検することができます。お子さんに絵本や雑誌、新聞、テイクアウトのメニュー、シリアル、クレヨンなどの文字が書かれた物で遊ぶ機会を与えてください。

★ あなたの18ヶ月の赤ちゃんは自分の体でできること、つまり歩いたり、登ったり、跳ねたり、滑ったりして世界を探検することを楽しんでいます。この年齢では、どの様に本を探しても間違いはありません。小さな子供たちは動き回りながらも、実はちゃんと話を聞いていることがよくあります。本と接するどんな体験も、この年齢では良いものです。たとえば本を逆さまに読むこともです!

★ 歌を歌ったり体を動かすことを誘導する本を読むことは、この年齢にとってはとても楽しいものです!

話して、歌って、読んで、遊ぼう:

★ お子さんに家中で本を持ち歩くことをオススメしてみましょ。猫に読んであげたり、赤ちゃんに読んであげたり、ベビーカーに乗っている間読んであげたりしてください。本を家中に置いておくことは18ヶ月の子どもが本に親しむ良い方法です。床に置いてあるバスケットの中や低い棚に本を置いて、お子さんがいつでも本を手にとれるようにしてみてください!

★ ごっこ遊びは読み書きへの重要なステップであり、18ヶ月の赤ちゃんは少しずつごっこ遊びの基本的なスキルを身につけ始めています。例えば、寝る前にぬいぐるみに絵本を読んであげるふりをするだけでも、想像力や象徴的思考を発達させる良い方法です

★ お子さんが絵本の中の絵を指差したり、その絵について一言や二言を話したりしたら、それに応じてさらに話を広げ、理解や語彙を深める手伝いをしてあげましょう。例えば、お子さんが逆さまに本を読んでいる絵を指差したら、「本が逆さまだね」と言って、自分で実際にやって見せるのも良いですね!



この本を提供して下さったのは、



Family Reading
Partnership

からのスポンサーシップのおかげで、



United Way of
Tompkins County
Impact Partner

あなたの成長する

- ♥ ますます自立してきている
- ♥ あなたが近くにいると言う安心感を持ちながら、一人で探検するのが好き
- ♥ 本の中の絵についてコメントすることがある
- ♥ お気に入りの本がある

一緒に成長しよう: あなたとあなたの2歳児

★ 2歳のお誕生日おめでとう!この年齢は「魔の二歳」と誤って表現されることが多いですが、代わりに2歳の素晴らしさに目に注目してみましょう!この時期はお子さんの自信と 言語力が芽生える素晴らしい時間です。日常生活でお子さんがしていることを言葉で説明することで、ポジティブな自己イメージと語彙力を築き上げられるようにしてください。

★ 幼児が自己主張が強いと言われる理由がわかってきたかもしれませんね。対処が難しい こともあります。これはお子さんが自分の意思を表現する健全な方法の一つです。着 替えの時に2枚のシャツからどちらかを選ばせるなど、シンプルな選択肢を与えてあげま しょう。こうすることで、お子さんに自信を持たせられるだけでなく、日々のルーティンがよりスムーズに進むようになります。

★ 話しかけたり、歌を歌ったり、一緒に本を読んだり、遊んだりすることで、毎日あなたの幼 児とコミュニケーションを取りましょう。お子さんはあなたと離れることについて大きな感情 を抱くかもしれません。寝る前やお別れの前に、一緒に本を読んだり、歌を歌ったりして、安心感のあるルーティンを作ってあげましょう。

★ 幼児の脳は急速に発達しており、この時期の子供は感情が豊かになることもあります。 幼児は大きな感情を抱いたとき、言葉でそれを表現することが難しいため、共感してくれ る大人のサポートが必要です。お子さんが感じていることについて話すことで、社会的・ 情緒的な発達や言語の発達をお手伝いできることとなります。

話して、歌って、読んで、遊ぼう:

★ 本は繰り返しや韻、擬声語、擬音語などに満ち溢れています。これらはすべて2歳の 子供たちが大好きな言語なのです!楽しんでください。そして、あなたのお子さんが同 じ本を何度も読みたがっても驚かないでください。

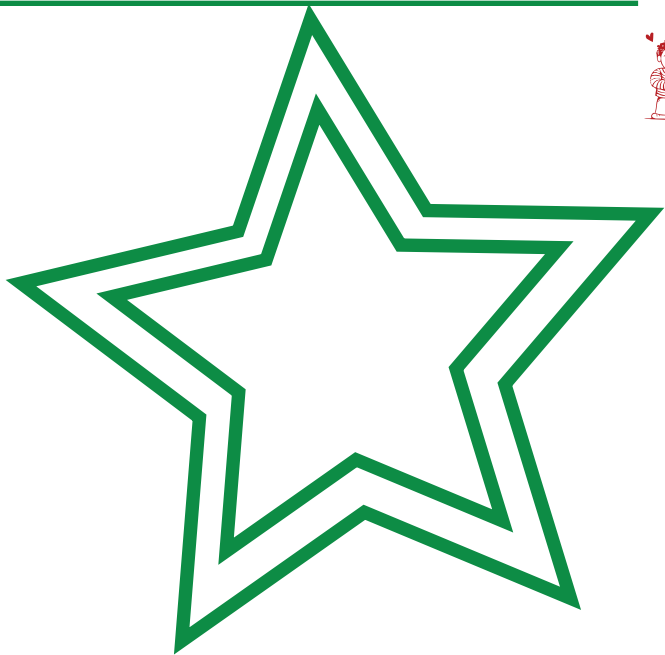
★ 読んでいる際に「登場人物は何をしていると思う?」のようなオープンエンドの質問をしてみましょ う。これにより、お子さんが本に興味を持ち、自分のアイデアを発展させるようになります。

★ お子さんが本について話したときは文章を作ることを手伝ってください。例えば、本に 出てくるトラックに付いて話したときは、「トラックが木を持ち上げているのが見えるね」と完結文で返事してください。

★ 新しい本を借りる為に図書館に行ったり、イサカモール内のフードコート近くにある「The Nook」に立ち寄ってみましょう。

さらなるアイデアや他のプログラムに興味がありましたら
www.familyreading.org をご訪問ください。





この本を提供してくださったのは、



からのスポンサーシップのおかげで、



United Way of
Tompkins County
Impact Partner

あなたの成長する3歳児

- ♥ 急速に語彙が増えていく
- ♥ 自分の世界を探求し、理解したがる
- ♥ 笑わせてくれる本や想像力をかき立てる本が大好き
- ♥ ほぼ暗記しているお気に入りの本があり、それを楽しそうにあなたに語ることもあるかも知らない

一緒に成長しよう: あなたとあなたの3歳児

★ 3歳のお誕生日おめでとう!あなたは3歳のお子さんが「なぜ?」という質問をたくさん するようになったことに気づいたかも知れません。これは会話を楽しむ素晴らしいチャンスです。全ての答えを知っている必要はありません。お子さんに「どう思う?」と問いかけて、会話を続けてみましょう!

★ 3歳の子供の語彙は急速に増えていき、身近な物に対して形容詞を結びつけ始めます。お家で「ミッケ!(I Spy)」などのゲームをしてみましょう。お子さんに見える物を選び、その物の形や色についてのヒントをあげてください。例えば、朝食にパンケーキを食べているときに、「丸くて茶色いものが見えるよ」と言って、お子さんにその物が何かを当てさせてみましょう。

★ ナーサリーライム(童謡)はお子さんが語彙を学ぶ素晴らしい方法です。お子さんが一つのライムに慣れたら、最後の部分で一度止まって、お子さんが続けて歌って曲を歌い終わらせるようにしてみてください。

★ 本やクレヨン、紙などの文房具をお子さんが自分で使えるように手の届く場所に置いてあげてください!

話して、歌って、読んで、遊ぼう:

★ 自然には一年中魔法のような瞬間がたくさんあります。お子さんと一緒に外に出かけましょう!リンゴ園を訪れたり、トンプキンス郡のFamily Reading Partnershipが提供するストーリーウォークを歩いてみましょう!

★ 料理は読む力と指示に従う能力を鍛える素晴らしい方法です。レシピを読みながら一緒に楽しく作ってみましょう。例えば、リンゴソースのレシピなんてどうでしょう!

★ 読書は想像する楽しさをもたらします。お子さんが自分の本を作ることを手伝ってください。必要なのは紙とクレヨン、または色鉛筆だけです。お子さんが絵を描いたり文字を書く練習をしたり、お子さんが話したことをあなたが書き出してあげるのも良いでしょう。



この本を提供してくださったのは、



からのスポンサーシップのおかげで、



United Way of
Tompkins County
Impact Partner

あなたの成長する4歳児

- ♥ 自分の名前など、特に自分にとって大切な言葉を読んだり書いたりしようとすることがある
- ♥ 聞いたことのあるお話を再び語るのが好き
- ♥ いくつかの文字を認識でき、文字と音を結び付けることがある
- ♥ 文字には意味があることを理解している

一緒に成長しよう： あなたとあなたの4歳児

★ 4歳の誕生日おめでとう！ あなたの4歳児は、言語がどこにでも存在することに気づきました。街の表紙版や飲食店の看板など、どこに行っても一緒に言葉を探して、彼らの書かれた文字への育つ認識力をサポートしてください。

★ 一緒に読書する時、4歳児がリードを取るように誘導してください。「どこから始めるの？」と聞いてみるのも良いでしょう。読んでいる際に時々止まって、次に何が起こると思うかを子供に聞いてみてください。

★ 物語を語ることは、この年齢にとって素晴らしい識字活動です。本からの馴染みのある物語を演じたり、就寝前にその日の出来事についての物語を語ることで、日常生活に物語を取り入れてみてください。

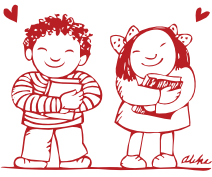
★ 毎日、話し、歌い、読み、遊ぶことを続けましょう！ 本や文房具を子供が手の届く場所に置いて、遊べるようにしておきましょう。読み手や書き手としての自信を育むために最も良い方法は、楽しさを保ち続けることです！

話して、歌って、読んで、遊ぼう：

★ あなたの4歳のお子さんが赤ちゃんの頃からどのように成長したかを振り返ってみましょう。昔の写真を出して、いくつかのストーリーを共有することも良いですね！紙にお子さんの体をトレースするのは、お子さんがどれだけ成長したかを振り返る楽しいアート活動になります。

★ 大人は子供との違いについて語ることを避けることが多いですが、4歳の子供は十分鋭い認識力を持っています。この年齢は、重要な会話を始め、違いを理解し受け入れるための基盤を築くのに最適です。

★ 遊び心のあるリズムを楽しむことで、お子さんは言葉の音を注意深く聞く能力を育てられます。本に出てくる言葉と他に韻を踏む言葉を考えて、一緒に楽しんでみましょう。



Family Reading Partnership

ご家族の皆様へ

お子さんの幼稚園入園、おめでとうございます。**Family Reading Partnership** は、この大きな節目をお祝いするために本をプレゼントいたします。ご家族がこの大きな一歩を踏み出すにあたり、今後も私たちのサービスを活用し、ご家庭や地域全体で本を通じた楽しい交流を続けていただければと思います



Story Walks

トンプキンス郡内の7か所に設置されたストーリーウォークで、ページを見つけながら散歩を楽しんでください。すべての設置場所はウェブサイトでご確認いただけます。



Bright Red Bookshelves

トンプキンス郡全体に設置された本棚から、やさしく扱う無料の子ども向けの本を持ち帰ってお楽しみください。お近くの設置場所を見つけるための地図はウェブサイトでご覧いただけます！

お子さんともっと楽しく交流するためのアイデアをお探しですか？ぜひ私たちのフォローをお忘れなく！

www.familyreading.org



Connecting families with young children to the joy of books and read-aloud experiences to expand their horizons.

本だけの話ではありません！

以下は、屋外で遊ぶことがリテラシー学習をサポートするいくつかの方法です！

- 外遊びは子どもの注意力を養う手助けをすることをご存知でしょうか？外で遊ぶことは単に楽しいだけでなく、感覚を使うことで脳の発達も増進させるのです。

- 例えば、うんていにぶら下がったり木に登ったりして子どもたちが全身を使って遊ぶとき、手や手首の細かい筋肉の基盤となる大きな筋肉が使われます。この細かい筋肉はペンや鉛筆を握ったりキーボードを使ったりする際に必要になる筋肉のことです。つまり、外で遊ぶことで、子どもたちは実際に書くために必要な筋肉を発達させているのです！

- 屋外で過ごす時間は言語の学習に底なしの機会を提供します。子どもと一緒に外にいる時、彼らの行動について話すことで、言語発達をサポートできます。例えば、子どもが高くジャンプしたり、速く走ったり、虫に優しく触れたりしたら、その行動を説明するためにあなたが使う言葉は全て、彼らが経験の中で学ぶ具体的な語彙になります。このような方法で学ぶ言葉は意味のある経験に基づいているため、長続きする言語の理解につながれます。

- 外で遊ぶときには、周りの自然について会話することもできます。例えば、「風が吹いているね」とか「泥がべたべただね」と言えるでしょう。お子さんが何を感じ、何に気づいているのかを聞いてみてください。外での体験は、室内では得られない言語発達のきっかけになることがあります。なぜなら、常に変化する屋外の環境は、行動、観察、感覚、挑戦、感情、そして想像力に対して、広大な可能性を提供するからです。

- 幼稚園への進学は大きな変化です。お子さんはさまざまな感情を抱くかもしれません。日常のルーティンを一定に保ち、気持ちを聞いてあげることによって、お子さんがリラックスできるようにサポートすることができます。外で遊ぶことは、リラックスして子どもらしい時間を楽しむ素晴らしい方法です。体を動かしながら、身体感覚に気づくことは、不安を感じたときに落ち着きを取り戻すために役立つ活動です。なので、外に出て、つながりを深め、体を動かし、話し、遊び、その瞬間を楽しんでください。そうすることで、お子さんの学びを手伝っていることを実感できるでしょう！